

新元号『令和』と万葉集が告げるもの

千葉県中学歴史教科書読み比べ会 オフィシャルサイト: <https://kyokasyoyokunare.jimdo.com/>

中学歴史教科書 読み比べ

平成31年
4月26日(金)
第7号

〈発行者〉
千葉県
中学歴史教科書
読み比べ会

〈連絡先電話〉
070-6941-1941



(上)新元号「令和」発表記者会見
(下)『万葉集』の該当記述
(豊橋市美術博物館蔵)

【はじめに】

平成三一年四月一日、政府は新元号を『令和』と発表した。この新元号は、今までの二四七の元号がすべて漢籍から採用されていたのに対し、初めて国書である『万葉集』から採用されたことが大きな関心を呼んだ。

世論調査によれば、八七パーセントの国民が新元号を「良いと思う」と回答している。(四月六日・FNN世論調査) また、新元号の発表を受けて『万葉集』の書店での売れ行きが急増しているという。

『万葉集』は、今から一千二〜三百年前に編纂された和歌集であり、当時の日本社会のあらゆる階層の人々の作品をまとめた世界最古にして最大の和歌集とされている。これは、世界に誇るべき我が国の文化遺産である。

このたびの新元号の発表とともに、『万葉集』に対する関心が高まったことは、誠に喜ばしい限りである。

これをきっかけに、『万葉集』をはじめとする我が国の多くの国書への関心が高まってゆけば幸いである。

では、中学歴史教科書各社が、『万葉集』についてどのように記述しているかを見ていく事とする。
以下、東京書籍、教育出版、帝国書院、自由社の順に引用する。

【東京書籍】

「歴史書と万葉集」四七頁本文
〈:また、和歌も盛んになり、奈良時代の末に大伴家持がまとめたといわれる「万葉集」には、天皇や貴族だけでなく、防人や農民の歌も収められています。〉

「歴史書と万葉集」四七頁側注
〈「防人の歌」 から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母(おも) なしにして
すそに取りついて泣く子どもたちを置いたまま来てしまった。その子の母もいないのに。〉

「歴史書と万葉集」四七頁写真、側注
《木簡に万葉仮名で書かれた「難波津の歌」
難波津に咲くやこの花冬こもり 今は春べと 咲くやこの花(を万葉仮名で示し)、漢字の音を使つて、一字一音で日本語を書き表していました。これを万葉仮名といいます。》

【教育出版】

「天平文化」三九頁本文
〈:また、柿本人麻呂や大伴家持をはじめ、天皇や貴族、民衆の和歌を広く集めた『万葉集』もまとめられました。〉

「天平文化」三九頁側注
《漢字の音訓を組み合わせて日本語を表現する、万葉仮名が用いられました。》

「農民のくらし」四一頁側注

《人並みに田をつくっているのに、海草のように破れた着物を着て、つぶれて曲がった家の中で、地面にじかにわらを敷いている。かまどには煙も立たず、こしき(米を蒸す器)にはクモが巣を張り、飯を炊くことも忘れて、ほそぼそとした声をたてているのに、むちを持った里長(さとおさ)が税を取り立てようと、戸口までやってきてわめいている。これほどまでにどうしようもないものなのか。この世に生きていくことは。》

「貧窮問答歌」(『万葉集』より 一部の要約) 国司を努めたことのある山上憶良が、地方の貧しい農民の暮らしをよんだ歌です。》

【帝国書院】

「律令国家での暮らし」三七頁側注
《兵役のなかでも、九州地方の防備に派遣された防人は大変

敵しい仕事でした。

「防人の歌」

唐衣 裾に取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母(おも)なし
にして(を万葉仮名と現代語訳で示す。)

「大陸の影響を受けた天平文化」四一頁本文

「一方、都に住む天皇や貴族の間では文字を使つて歌をよむことが
教養として重視されました。大伴家持がまとめたといわれる『万葉
集』には日本語の音を漢字で表す万葉がなが使われ、柿本人麻呂や山
上憶良などの歌人や農民、防人がつくつた和歌もおさめられまし
た。」

「大陸の影響を受けた天平文化」四一頁側注

「『万葉集』と『古今和歌集』にみる花の好み」 奈良時代には花
といえは梅が中心でした。梅は中国から渡来したもので、当時中国の
制度や文物をいち早く吸収しようとしていたため、多くの梅が植え
られました。平安時代につくられた『古今和歌集』での和歌の題材は
桜が多くなつていきます。」

「大陸の影響を受けた天平文化」四一頁グラフ

《梅 万葉集 一一八首、古今和歌集 一八首・桜 万葉集 四二首、
古今和歌集 七〇首》

【自由社】

「天平文化」六七頁本文

「文学では『万葉集』が編纂され、古代から奈良時代までの四五〇
〇首余の和歌が身分のへだてなく採録されている。作者は天皇・貴
族から名もなき農民・防人まで多彩で、詩歌集に女性や庶民の作品
まで採られているのは世界でも例がない。飛鳥時代の額田王(ぬかだ
のおおきみ)、柿本人麻呂(かきのものひとまる)、奈良時代の大
伴家持(おおとものやかもち)、山上憶良(やまのうえのおくら)、
山部赤人(やまべのあかひと)、大伴旅人(おおとものたびと)らが
優れた作品を残した。」

「天平文化」六七頁欄外

《「万葉集の秀歌」

熱田津(にぎたづ)に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出
でな

淡海の海 夕波千鳥汝が鳴けば 心もしのいにしへ思ほゆ

額田王 柿本人麻呂

かささぎの わたせる橋におく霜の しろきをみれば 夜ぞふけに

大伴家持

ける 世の中を憂しとやさしと思へども 飛びたちかねつ 鳥にしあらね

山上憶良

田子の浦ゆ うち出でてみれば真白にぞ 富士の高嶺に 雪は降りけ
る 山部赤人：《

「白村江の戦いと国防の備え」五八頁側注

「防人とは、諸国から集められ、九州北部の沿岸と老岐、対馬に配置
された兵士で、三年交代で防衛の任についた。東国の兵士が多かつ
た。」

四社の歴史教科書の中で、『万葉集』の特質である作者の身分のへ
だてなく和歌が採録されているのは自由社の教科書である。東京書籍
帝国書院の二社は、「防人の歌」からのみ作品を挙げている点に、や
や偏りが見られる。これでは、『万葉集』が編纂された時代に、朝廷
中央政府(支配階級)と、虐げられた庶民(被支配階級)が、あたかも
対立していたかのような印象をまぬがれない。

一方、教育出版は、「農民の暮らし」の中で山上憶良の長歌「貧窮
問答歌」を挙げて庶民の生活の困窮を強調している点に疑問が残る。
実は、この歌は憶良の実体験を歌ったものではなく、中国の貴人が
田舎に行つてそこの生活を嘆くという田園詩というジャンルの模倣で
あつた事がすでに判明しているからだ。

文科省の「学習指導要領」には、「我が国の伝統と文化の特色を広
い視野に立って考えさせ」、「我が国の歴史に対する愛情を深め」と
ある。この要領に沿つた教科書を生徒達のために提供するものは、教科
書を作る者の役目である。今、我が国最古にして最大の和歌集が
『令和』の時代とともによみがえつたことは、「我が国の伝統と文化
の特色」や「我が国の歴史に対する愛情を」深めさせる良い機会であ
ると思う。 以上

「中学歴史教科書読み比べについて」

千葉県内の中学歴史教科書の採択状況は、左記のとおりです。
教育出版(船橋、習志野、八千代、香取、神崎、多古、東庄)
帝国書院(市川、浦安)
東京書籍(右を除く市町村)

私共は、この大手三社に加え、自由社の併せて四社の歴史教科書を
約二年間に亘つて読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がな
され、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、自由社の教科書
であるとの結論に至りました。そして、この結果を踏まえ、県内の中
学生の子供を持つ父兄、並びに教育関係者への周知を図るため、この
「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、現在千葉県内で採択
されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存
です。(会員一同)

※バックナンバーご希望の方は、オフィシャルサイトへどうぞ。